



北海道美瑛町

ゼロカーボンアクション

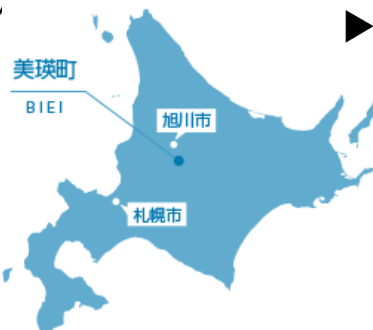


- 人口 9,551人 (R5.1月末現在)
- 世帯数 4,792世帯 (R5.1月末現在)
- 面積 676.78 km²

▶うち山林 492.67km²

○農業

- ▶農業経営体数 406戸 (うち個人経営体 362戸)
- ▶作付面積 12,600ha
 水稲：887ha 小麦：3,328ha 豆類：913ha 甜菜：1,081ha
 馬鈴薯：701ha 野菜：896ha 飼料：2,462ha
- ▶飼育頭数
 豚：10,805頭 肉用牛：6,863頭 乳用牛：5,823頭
- ▶生産額 約120億円
- ▶主な農畜産物
 水稲・小麦・豆類・甜菜・馬鈴薯・スイートコーン・南瓜・トマト
 アスパラガス・玉ねぎ・ブロッコリー・肉畜・生乳



○観光業

- ▶観光客数 242万人/年 (※R元年度)
- ▶主な観光スポット

白金温泉・白ひげの滝・十勝岳望岳台・白金青い池
 北西の丘展望公園・ぜるぶの丘・セブンスターの木・ケンとメリーの木
 拓真館・親子の木・クリスマスツリーの木・道の駅「丘のくら」
 道の駅「白金ビルケ」・千代田の丘展望公園・三愛の丘展望公園
 新栄の丘展望公園・四季彩の丘



白金青い池



丘陵地帯

民間企業様に期待すること

- 「観光・交通×脱炭素」による美瑛観光の価値創造
- 「景観の保全」と「脱炭素施策」の両立

○令和4年度の主な取組

- ▶ゼロカーボンシティ宣言（R4.4月）
- ▶庁内プロジェクトチーム設置
- ▶北海道行動変容促進事業への協力
- ▶北海道環境生活部ゼロカーボン戦略課による講演会
- ▶十勝岳噴火総合防災訓練における電気自動車給電実証
- ▶町と企業による循環型社会と地方創生スペシャルトークショー
- ▶SDGsカードゲーム（北海道SDGs推進支援事業）
- ▶森の輪（わっこ）プロジェクト
- ▶カーシェアリングサービス

○令和5年度の主な取組

- ▶新部署の設置（まちづくり推進課地域みらい創造室）
- ▶再エネ計画導入目標の策定
- ▶地域協議会の設立
- ▶ペットボトルリサイクルに関する企業連携

○再エネ等に関する主な取組

- ▶しろがねダム管理用水力発電所（特別会計）
- ▶木質バイオマスボイラー（丘のまち交流館bi.yell、町民プール）
- ▶下水汚泥コンポスト化施設
- ▶バイオガスプラント（民間事業者）



避難所での給電実証



町民プール（木質バイオマスボイラー導入）

町のこれからの展望

- 新しい部署の設置及び地域協議会の設立を契機に全町的な取組へと発展させていきたい。
- 豊富な地域資源と多様な産業を、脱炭素にどう組み合わせられるのかを検討し、何かしらの施策を実行していきたい。

課題・悩み

- 自然環境が豊かでポテンシャルが高いと思われるが、豊富な資源があるからこそ何から取り組めばよいのかわからない。
- 農業は多様な営農形態（水田、畑作、酪農、施設園芸等）があり、脱炭素施策につなげられそうだが、類型が多いゆえに何から取り組めばよいのかわからない。
- 町面積の約 7 割が森林だが、国有林も多く施策にいかすことができるのかわからない。
- 地域資源である丘陵景観を保全しながら再エネ導入ができるのか。

町として取り組みたいこと

- ① 農業課題（家畜糞尿、食品残渣）の解決と美瑛産品の付加価値向上につながる脱炭素施策を検討していきたい。
- ② 美瑛観光と脱炭素施策（カーボンオフセット等）を掛け合わせた施策を検討していきたい。
- ③ 計画策定と並行して再エネ導入等、実証的に事業を進めていきたい。
- ④ 公共施設における具体的な省エネ・再エネの可能性を検討したい。
- ⑤ 一般家庭における脱炭素の取組への支援を検討していきたい。



民間企業様に期待すること

町内に点在する景勝スポットを各種手段で巡ることが魅力の一つとなっているまちの「観光・交通」と脱炭素施策を掛け合わせることで、新たな美瑛観光の価値創造につながる企画・提案



「日本で最も美しい村」連合の理念の下、世界に誇る「丘のまちびえい」の丘陵景観を保全しつつ、地域脱炭素に取り組まなければならないという、美瑛町特有の条件をいかした企画・提案